



## 2018年12月7日(金)～

### 2018年12月20日(木)の活動

#### ○ マッチング・ワークショップ

12月7日(金) 東京都

北経連・四経連・経団連共催の「マッチング・ワークショップ」を経団連会館にて開催した。これは2016年9月に締結した「経団連との連携協定」に基づくもの。北陸からは5件の提案を行った。

①富山市 「SDGs 未来都市について」

②金沢工業大学

「地方創生研究所」「国際高等専門学校」

③株スギノマシン

「スイングアーム式コラムロボット」

「バイオマスナノファイバー」

④小松マテレー(株)

「超保水材 グリーンビズ」

「熱可塑性炭素繊維複合材 CABKOMA」

⑤武生特殊鋼材(株)

「クラッドメタル」「高強度・高靱性チタン」

経団連の会員企業75社から100名が参加。各社発表後、個別に45件の面談を行い、内27件について次に繋がる商談ができた。経団連企業は北陸企業や北陸の動きを殆ど知らないことも分かり、今後も本取組を継続することを経団連との間で合意した。なお、当日は四国経済連合会からも5件の提案があった。(担当:杉山)

#### ○ つるが環境フェア

12月8日(土) 敦賀市

「つるが環境フェア GREEN PICNINC 2018」が敦賀市きらめきみなと館で開催され、北陸環境共生会議は児童向け科学実験教室「手作り電気で遊んで学んで省エネ実験」を出展した。

教室には約100名の親子が来場し、太陽発電で鳴らすメロディーカードやハンディーライトの作成、手回し発電で動くぬいぐるみなどに触れて、発電のしくみやエコについて楽しく学んだ。

北陸環境共生会議は、当会と富山・石川・福井の北陸三県で構成している。(担当:落合)

#### ○ 平成30年度 第1回 先端技術推進委員会

12月10日(月) 金沢市

ホテル金沢において「平成30年度第1回先端技術推進委員会」が開催され水口委員長をはじめ17名の委員が出席した。

水口委員長の挨拶の後、「平成30年度事業計画の実施状況と評価・方向性」について審議し、了承された。

各委員からは北陸地域全体での産学連携の取組み強化や、大学・企業双方における人材育成について意見が交わされた。(担当:小林)

#### ○ 先端技術講演会

12月10日(月) 金沢市

ホテル金沢において先端技術講演会を開催し、約100名の企業関係者が参加した。

「AIへの取り組みとIBM Watsonの活用例」と題して、日本アイビーエム執行役員ソフトウェア&システム研究所長 岡田啓一様より、IBMの開発した人工知能 Watson による業務の効率化と今後の展望についてご講演いただき質疑応答を行った。

(担当:小林)

#### ○ 平成30年度 第3回 総合対策委員会

12月12日(水) 金沢市

平成30年度 第3回 総合対策委員会をホテル金沢にて開催し、稲垣委員長をはじめ14名の委員が出席した。

稲垣委員長の挨拶の後、「平成30年度事業計画の実施状況と評価・方向性」および「2019年度事業活動方針案」について審議を行い、了承された。

委員からは、今年日本で大規模災害が相次いで発生したことを踏まえ、防災・減災への対応に関する要望を強化していくべきなどの指摘があった。

このほか、「政府に対する北陸経済界からの要望活動」、「北陸近未来ビジョンの検討状況」、「経団連との連携協定に基づくマッチング(ワークショップの開催)」についてそれぞれ報告を行った。

(担当:鳥山)

## ホームページをご覧ください！

北陸経済連合会のホームページが見やすくなりました。

ほしい情報にすぐにアクセスできます。

スマホでも見やすい北陸経済連合会のホームページを是非ご覧ください。

<http://www.hokkeiren.gr.jp/>

## ○ 第 342 回 常任理事会

12月17日(月)

金沢市

第 342 回常任理事会を金沢ニューグランドホテルにて開催、久和会長をはじめ 19 名が出席した。

会長は、冒頭のあいさつの中で、今年 1 年を振り返り「北陸の経済状況は拡大している。」「北陸新幹線については、金沢・敦賀間の工事費が増加しているが、安倍総理には予定どおり 2022 年度末に開業させると明言していただいている。敦賀以西については、来年度から環境アセスメントが実施される。引き続き敦賀開業前の 2022 年度中の工事認可・着工を要望していく」と述べた。

続いて、「平成 30 年度事業計画の実施状況・評価および 2019 年度事業活動方針案」について審議し、了承された。

この他、「政府に対する北陸経済界からの要望活動」、「北陸近未来ビジョンの検討状況」、「経団連との連携協定に基づくマッチング（ワークショップの開催）」についてそれぞれ報告を行った。

いただいたご意見を踏まえた 2019 年度事業活動方針は新春経済懇談会にて発表する。(担当：小山)

## ○ 講演会

12月19日(水)

金沢市

2035 年頃の北陸の「ありたい姿」「あるべき姿」(北陸近未来ビジョン)の検討を進めていくにあたり、特に地方の将来を見据える上で考慮すべき観点などに関するご示唆をいただくため、(一財)日本経済研究所 専務理事(チーフエコノミスト)の鍋山徹氏を招き、『最新テクノロジーが拓く産業と地方のあるべき姿』と題しての講演を ANA クラウンプラザホテル金沢にて開催し、当会会員など 46 名が参加した。

鍋山氏からは、競争が激しい最先端のテクノロジーで“ゼロから何か新しいものをつくる”よりも、既に持っている商品・サービスの「意味を変える」(例. 明かりを灯すためのロウソクに香りをつけて“ぬくもり”を与える商品に変える)ことにより付加価値をつける『意味のイノベーション』を進めることの重要性などの示唆をいただいた。

(担当：鳥山)

## お知らせ

### ○ セミナー「北陸地域における工作機械産業を中心とした先端ものづくり産業の IoT 化・AI 導入の可能性」

経済産業省中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局主催、北経連などの後援で標記セミナーが開催される。このセミナーは平成 30 年度 地域中核企業創出・支援事業(ネットワーク型)「北陸地域における先端ものづくり産業の国際競争力強化事業の創出」の一環として開催するものであり、多数のご参加をお願いいたします。

【日時】平成 31 年 1 月 22 日(火) 13:00~16:00

【会場】金沢ニューグランドホテル 5 階「銀扇」

※参加無料

申込、詳細については下記参加申込書をご覧ください。

<http://www.hiac.or.jp/news/details/20190122.pdf>

お問い合わせ・申込は、事務局の(一財)北陸産業活性化センターまでお願いします。

TEL : 076-264-3001 FAX : 076-264-3900

E-mail : [sanka@hiac.or.jp](mailto:sanka@hiac.or.jp)

### ○ 新入会員のご紹介

〔KSR 株式会社〕

代表取締役社長 小野 隆夫

(業種：情報・ソフトウェア開発)

〒600-8806

京都市下京区中堂寺壬生川町 20-2

Tel : 075-842-1555 Fax : 075-842-2574

### 今後の主な活動予定

- 1月25日(金)  
新春経済懇談会  
＜場所：金沢ニューグランドホテル＞
- 3月1日(金)  
第 26 回北陸地方懇話会  
＜場所：金沢ニューグランドホテル＞
- 3月4日(月)  
Society5.0 for SDGs セミナー in 北陸  
＜場所：富山県民会館＞

## 北陸シェアトップ150のご案内

北陸経済連合会では、北陸地域において、世界または日本国内で高いシェアを誇る製品を紹介した「北陸のシェアトップ 100」を改訂・増補し、このほど「シェアトップ 150」を発刊いたしました。本冊子は北陸地域(富山県、石川県、福井県)のものづくり企業の、世界または日本国内で高いシェアを誇る 155 製品(122 社)を紹介しております。今回の改訂では、AR 機能を搭載し、製品の詳しい情報などを簡単にスマホで見ることができるようになりました。

本冊子を通じて、北陸の優れた製品、技術について認識を深めていただき、北陸地域の産業活性化に資するよう、PR 資料として活用しております。是非ご覧ください。

<http://www.hokkeiren.gr.jp/news/data/cd06810fdf02a7d39b58715283467b97.pdf>

冊子版を希望される方は事務局までお問い合わせください。